

報道関係者各位

2026年4月1日

児童発達支援の専門知識を保育現場へ【地域初】保育園への訪問支援を開始。

MINORI Group Holdingsから広島県安芸郡熊野町・初神保育園へ

～療育のプロが保育士や保護者へ専門知識を共有。

地域全体ですべての子どもの安心と成長を支える取り組み～



MINORI Group Holdings株式会社(本社:広島市安佐南区、代表取締役:駕屋貴治)の運営するティルル海田の児童発達支援スタッフが、熊野町の初神保育園に直接出向き、担任の先生の「質問」に寄り添いながら、子ども一人ひとりに合ったかかわり方を一緒に考える訪問支援を実施しました。

文部科学省の調査(2022年)では、小中学生の8.8%、推計70万人以上に発達障害の可能性があるとされています。また、放課後等デイサービスの利用者は制度創設からの約10年で11.1倍と急増しており、支援ニーズは年々高まっています。

私たちは、13年にわたる児童発達支援の専門知識を、保育・教育の現場と共有することで、子どもたちがどこにいても安心して過ごせる地域づくりをめざしています。

「訪問支援」実施内容について

きっかけは保育園の先生からの一通のメッセージでした。

熊野町・初神保育園の保育士の先生から「1日の療育の流れを知りたい」という問い合わせがきっかけで始まりました。朝から夕方までの子どもの活動の流れについて情報交換を重ねるなかで、担任の先生がお子さんへの対応について質問があることが明らかになりました。

また、お子さんの保護者からも悩まれている様子が伝わってきました。

「先生にも話を聞いてもらえたら」お悩みを解決できるのでは？という思いから、スタッフが実際に保育園へ足を運ぶことを決めました。

支援の内容 —

観察・傾聴・すぐ使えるアドバイス

訪問では、まずそのお子さんと先生が普段過ごす部屋での様子を観察しました。

担任の先生から「疑問点」を丁寧に聞き取ったうえで、療育の現場で実際に効果のあった具体的なかかわり方を共有しました。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

MINORI Group Holdings株式会社 担当:山下 浩治 yotsuba.k.yamashita@gmail.com

主なアドバイスは以下のとおりです

- 声のかけ方:騒がしい中で、自分の名前や必要な指示を聞き取る力に弱さを抱えていると、すべて同じ音量で聞こえてきます。アプローチの工夫として、耳元で話をすることで聴覚的ノイズが上書きされ、たくさんの情報を取捨選択しなくても、聞き取りしやすくなる。
- 予告の仕方:「あと何分」という時間の概念より、「これを1個片付けたら次」「3つ終わったら」という量(数)で伝えると見通しが持てる。
- サインを見逃さない:そわそわし始めたり、ぼーっとしてきたりした時が「充電タイム」のサイン。叱るのではなく、静かな場所で少し休憩させることで、その後の活動が落ち着く。
- 得意を活かす:工作や工具を使った細かい作業が得意なお子さんなので、そこに集中できる時間を確保し「すごいね、頑張ってるね」と声をかけると自己肯定感が高まり、全体的に落ち着きやすくなる。
- 視覚的な見通し:その子が理解できる視覚支援を準備して提示することで、見通しをもって安心して活動ができる。混乱や不安の中で行動していた子供が落ち着いて動けるようになっていく。

先生たちの反応

訪問後、担任の先生方の表情は明らかに明るくなりました。「ありがとうございました」という言葉とともに、それまでの悩みが少し解けたような顔つきになったのが印象的でした。

特に「量で伝える」というアドバイスには先生がすぐに反応し、「これならできる」と前のめりになってくれました。また、活動の導入時にジャンプや粘土遊びなど身体や感覚を使う「感覚入力」を取り入れると、子どもたちがその後の活動に落ち着いて参加できることも共有しました。専門知識が、現場で今すぐ使えるヒントに変わる瞬間でした。

支援者として大切にしていることかかわりの基本として、「子どもと同じ目の高さで向き合い、まず安心してもらうこと」を最も大切にしています。信頼関係がすべての出発点であるという考えは、保育園への訪問支援でも変わりません。また、「この子にはなぜこの関わり方が有効なのか」という理由(根拠)を、スタッフ同士が常に共有・深掘りしています。支援の「なぜ」を理解したうえで現場に届けることが、保育士・教師との対話をより深いものにすると考えています。

この活動が地域にもたらすもの

「他の子と同じことができない」のではなく、「こういう特徴があるから、こういうかかわりが必要なんだ」と理解してもらえるだけで、子どもの生活は大きく変わります。

子供ひとりひとりの個性に向き合い、専門的な視点でみることで、子供たちの行動がヒントとなり子供の気持ちに寄り添ったアプローチにつながります。そのアプローチこそが子供が安心して成長できる環境へと変わっていくのだと考えます。

保護者さんにとっても、「どこに行っても自分の子のままでいい」と思える場所が地域に増えることは、孤立感や自己否定を和らげる大きな支えになります。

保護者さんに元気でいてほしい。そのために、子どもの成長を一緒に見守れる地域をつくっていききたいと考えています。

今後の展望 保護者さんの味方に

ティルル海田の管理者からのメッセージ「保護者さんの味方になりたいと思っています。何かあればいつでも相談にきてください。保護者さんにはまず元気でいてほしいので力になりたいです。子どもさんの成長を一緒に見守っていきましょう。」

ティルル海田では、今後も地域の保育園などとの「訪問支援」の連携を積極的に進めていく予定です。療育の専門知識を持つスタッフが地域に直接出向くことで、保護者や教育現場の孤立を防ぎ、すべての子どもたちが安心して自分らしく成長できる地域社会の実現を目指してまいります。訪問支援に関するご相談も随時受け付けております。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

MINORI Group Holdings株式会社 担当:山下 浩治 yotsuba.k.yamashita@gmail.com

MINORI Group Holdings株式会社について

MINORI Group Holdings株式会社は、広島市安佐南区八木を拠点に、福祉事業・不動産事業・農園事業を展開する地域密着型のグループ企業です。「実りある未来を共につくる」を合言葉に、地域の課題解決と人の成長を促すための仕組みづくりを行っています。

【会社概要】

社名：MINORI Group Holdings株式会社

代表者：代表取締役 駕屋貴治

本社所在地：広島市安佐南区八木7丁目6-9

設立：2025年5月

資本金：100万円

従業員数：150名（グループ全体）

事業内容：児童福祉、高齢介護、不動産、工務店、ボクシングジムなど

HP：<https://www.minoriholdings.jp/>

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

広報担当者：山下 浩治

メールアドレス：yotsuba.k.yamashita@gmail.com

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

MINORI Group Holdings株式会社 担当：山下 浩治 yotsuba.k.yamashita@gmail.com